

令和2年4月23日

## 保護者の皆様へのお願い

武岡台高等学校長

臨時休業初日である昨日の生徒たちの生活ぶりはいかがだったでしょうか。

さて、今回の臨時休業の概要については先日プリントでお知らせしたとおりですが、可能な限り県内における感染拡大を防ぎ、そして早期の学校再開を実現するために私たち「チーム武岡台高校」にできることとして、以下の点を改めてお願いいたします。

### 内容

- 1 休業中の行動について
- 2 休業中の生活・学習について
- 3 臨時登校日について
- 4 5月～6月の主な行事等について
- 5 おわりに

【参考】4月20日全校朝礼講話

### 1 休業中の行動について

- ① 不要不急の外出は控えさせてください。特に、県外への移動は慎むようお願いいたします。万が一、どうしても県外への移動が必要になった場合は、帰着後に2週間の自宅待機及び健康観察などの対応が生じてきますので、事前に学校までお知らせください。
- ② 必要な外出(日用品の買い出し・通院・体力保持のための運動等)の場合も、マスクの着用や3密を回避する配慮をする等の対応をしていただくようお願いいたします。
- ③ 県外から帰省等をされた御家族等がいらっしゃる場合は、県の要請に従った対応をお願いいたします。
- ④ すでに連絡したとおり、この期間の部活動については実施いたしません。

### 2 休業中の生活・学習について

- ① 休業中であっても、1日のスケジュールをきちんと立て、その中で計画的に学習がなされるようお願いいたします。県の施設等も閉館になっていますので、自宅で学習するよう御指導ください。
- ② 休業中の課題はすでに示してありますが、先日ある3年生の生徒から「この機会に現代文の読解力をつけたい。何をしたらよいか」という質問が教科担任にあったそうです。そのような自発的・発展的学習については、遠慮なく担任等に相談させてください。
- ③ 御家庭での健康観察・検温等は欠かさないようにお願いいたします。万が一、感染が疑われるような症状を確認した場合には、絶対に外出をさせず、経過の観察や定められ

た対応に努めていただくとともに、学校へも御連絡ください。同居する御家族に症状が確認された場合も同様です。

### 3 臨時登校日について

- ① 今期間(~5月6日)については、現在のところ設定しない方向で考えています。
- ② 緊急に登校させる必要が生じた場合、もしくは休業期間の延長等の措置がなされた場合には、臨時登校日を設定することも考えております。その際は安心安全メールおよび本ホームページで連絡いたします。

### 4 5月~6月の主な行事等について

- ① 5月14日開催予定のPTA総会については、集会としては開催せず、書面決議という方法をとらせていただきたいと考えています。資料等は後日生徒便でお渡しいたします。5月1日開催予定の理事会・評議員会については、議案整理や体制整備等のため必要ですので、時間短縮や感染拡大防止措置等を図り、現在のところ開催する予定です。
- ② 1学期中間考査については、学習範囲も十分ではないことから、考査としての実施はいたしません。中間時の評価については、本年度に入ってから授業や課題への取組、今回の休業期間中の課題への取組等により算出し、期末考査の成績と合算して、1学期の成績としてお示しいたします。なお、予定されていた中間考査期間は通常授業を実施し、休業措置による学習の遅れを取り戻す内容といたします。
- ③ 5月9日に計画していた創立記念講演会については延期いたします。講師には本校OBの薬学者で、様々なウィルス対応の経験を積まれておられる方を予定しております。実施については後日御連絡いたします。
- ④ 6月6日の文化祭についても延期といたします。その際、3密を避けるという観点から、本校生徒・職員のみでの開催となり得ることも御承知おきください。

### 5 おわりに

現在私たち大人は生徒たちに対して、様々な行動の規制や我慢を強いている状況です。高校生だった頃の自分の行動やエネルギーを考えてみますと、いかに今の規制や我慢が若者にとってストレスとなっているか、それは十分に理解しております。しかし、それでも我慢を強いなければならない、それも間違いのない現実です。この状況下、彼らを安全にかつ正確に将来の社会の主役たる人材として導くためには、私たち学校職員の力のみでは当然不十分です。ぜひ、これまで彼らを育て上げ、彼らについて全てご存じの保護者の皆様のお力をお貸しください。

先日の全校朝礼(放送で実施)において、私から生徒たちには、コロナのせいで人と人との関係が何となくギスギスし始めているこの時期だからこそ、そしてコロナ終息以後の社会を正常に機能させるためにも、ことばや他者との心のつながりを大切にしようという旨の話をしてあります(内容は【参考】のとおり)。人生の先輩として、この機会に保護者の皆様からも、彼らに様々な観点からお話をさせていただき、彼らが今後社会を築

き上げる力の向上を図る機会を作っていただければ幸甚に存じます。

末筆ながら、皆様も十分に御自愛くださいますようお願い申し上げます。

### 【参考】

#### 2020. 4. 20 全校朝礼講話 「寿司屋で僕は考えた」(原稿)

- 学校も明後日から再び休校に入るといふ、非常に厳しい状況である。みんなには常にそんな状況であるということ踏まえた理性的な行動にあらゆる場で努めてくれることを、心から、本当に心からお願いしておく。これからは新型コロナへの万全の対応を君たちには求め続けながら、今日は学校再開後、さらにはその先を見据えた話をする。
- 新年度に向かって気合を入れるために、春休みにお寿司を食べにいった。と言っても、もちろん回転寿司。店に入り、びっくりした。なんと入り口で、ロボットが僕を待ち受けているのだ。僕がその前に立つと「いらっしゃいませ、何名様ですか？」と、まるで「鬼滅の刃」に出てくる胡蝶しのぶのようなイントネーションで話しかけてくる。
- 一通り彼の質問にタッチパネルで答えた後、待合席に座って案内を待っていた。なるほど、実際の席への案内は人間が担当するわけか。仕事の分担がしっかりできているんだな。人手不足対策だろうけど、面白い発想だななどと考えながら、順番を待っていた。
- 5分ほどして僕の番号が呼ばれ、店員に席に案内された。その間、数組のお客さんが来店し、そのロボットの前に立った。そのたびに彼は「いらっしゃいませ、何名様ですか？」と繰り返している。僕の心の中には何か違和感が生じ始めていた。例えば小さな女の子を連れたグループが入ってきたら「おじょうちゃん、いらっしゃい、いっぱい食べてね」とか、カップルが入ってきたら「幸せそうなお二人さん、うちのワサビを食べて人生の辛さを思い知ってね」とか言ってくれれば面白いんだが、誰が入ってきても「いらっしゃいませ、何名様ですか？」。心が無いんだよな・・・大好きなカンパチを食べながらそう思った。つまり、単なる記号の音声化ということだ。
- 二皿目のシメサバに手を伸ばしながら、僕の脳裏に蘇った風景は、武台の朝の登校風景だ。朝7時半前後、次々とバスから降りてくる生徒たち、そして自転車を降りて正門をくぐる生徒たち。その生徒たちと、校門で待ち受けている先生たちとの間で交わされる「おはよう」「おはようございます」の朝の挨拶。笑顔で「おはようございます」と挨拶してもらえたら、やはり気持ちがいい。逆に無視されたり気付いてくれなかったりした場合は落ち込んでしまう。門に立つ先生たちの悲しそうな顔を見るのがつらくてたまらない。
- ところで君たちは、昼の挨拶「こんにちは」と夜の挨拶「こんばんは」は、なぜ「わ」と発音するのに表記上は「は」と書くのか知っているか？これはもともとは、「今日のご機嫌いかがですか」という相手を思いやる表現であったものが、「ご機嫌いかがですか」が省略されてできあがった表現と言われている。「こんにちは」の「は」は助詞なのだ。だから表記上は「は」となる。「こんばんは」も同様に、たとえば「今晚はいかがお過ごしですか」の省略形であると考えられている。
- とすれば、「おはよう」も同様に省略形のはずだ。「おはよう」の「う」、これは「ク活用の形容詞『はやし』の連用形ウ音便」だ。古文をしっかりと学んでいるからもちろんわかる

よね？つまり「早く」「お早く」が原型。とすれば、相手への思いやりがこもった挨拶として、後にどんな表現が省略されているかな？

- 正門を舞台に考えれば、多分、「朝お早くから時間通りに学校に登校している君たちを誇りに思う」とか、「朝お早くから私たちを出迎えてくれてありがとうございます、がんばります！」とか、そんな表現の省略形なんだろうね。
- つまり、コミュニケーションの際に用いられる言葉は、すべて発言者の気持ちと表裏一体の関係にあるということなのだ。人とコミュニケーションする時には、この事実が大前提となっている。気持ちを表現するために言葉があり、そしてその言葉を受ける側はそこに相手の自分に対する気持ちを本能的に読み取ろうとする。それが人間のコミュニケーションの原則であり、寿司屋のロボットが単に記号として音声を発しているのとは全く異なるわけだ。
- しかし現実には、残念ながら受け手の気持ちを考えない発言や、ロボットのように気持ちの伴わない言葉が人間から発せられ、それによって受け手側が大きな苦しみを味わうということも起きている。たとえばSNSやネットの書き込みで用いられる「死ね」とか「うざい」などという表現。また、現在のコロナウィルスに関係した誹謗中傷、そして差別。問題になってからその当事者たちは「何気なく使った」とか「みんながよく使うから」などと言い訳を述べることが多いが、さっきも言ったように、人間は自分に対して発せられた言葉に相手の気持ちや意図を求めてしまう生き物なのだ。だから、たとえ無意識だったにせよ、こういった表現の問題点はわかるよね。
- 加えて、誰かに何かを発言する際には、相手に対してその発言の全責任と、その発言によって逆に自分が批判されてもかまわないという覚悟を伴ったものでなければならない。実際、僕はみんなの前でこうやって話をする時にはその覚悟で臨んでいる。ネットの例はその意味でも全く無責任だ。
- この1年、特にコロナウィルスのせいで不安定な1年になるかもしれないが、武台にいる我々の間で交わされる言葉は、すべて気持ちの伴った、かつ、発言者の責任と覚悟を伴った、安定した、そしてしっかりと根を張った言葉であってほしい。そうすれば、生活を共にする仲間たちとともに、みんながポジティブに、自分の目標実現のために邁進できる、そんな学校が実現できると確信している。言葉はなんといっても全ての生活のベースだから、僕は何としてもこのことを自分の学校の子供たちにお願ひしよう。そして幸せに生きるための力を与えてくれる言葉があふれる学校にしよう。そうすれば、三学期終業式で話した真のリーダーの姿にもつながっていくはずだ・・・
- 8皿目に勇気を出して手にしたウニを食べながらそんなことを考えていたら、かつて読んだ、あるエピソードを思い出した。相手を思う気持ちのこもった言葉の素晴らしさを教えてくれたエピソードだ。
- アメリカの、とある地方に野球観戦の大好きな、でも、目の見えない少年がいました。少年は大リーグ屈指のホームランバッターである選手に憧れています。少年はその選手へファンレターを綴りました。「ぼくは目が見えません。でも、毎日あなたのホームランを楽しみにしています。手術をすれば見えるようになるのですが、怖くてたまりません。あな

たのような強い心がほしい。ぼくのヒーローへ」。

少年のことがマスコミの目にとまり、二人の対面が実現することになりました。カメラのフラッシュの中、ヒーローと少年はこう約束します。今度の試合でホームランを放てば、少年は勇気をもって手術に臨む、と。

そして、その試合、ヒーローの最後の打席。3ボール2ストライク。テレビや新聞を見た多くのファンがスタジアムで固唾をのんで見守り、少年自身もテレビの中継を祈る思いで聞いています。ピッチャーが投げた最後のボールは・・・大きな空振りとともに、キャッチャーミットに突き刺さりました。全米から大きな溜め息が漏れようとしたその時、スタジアムの実況アナウンサーがこう叫びました。

「ホームラン！ 月にまで届きそうな、大きな大きなホームランです！」

○客観的に判断すれば、そのアナウンサーの発言は「嘘」なんだけど、「なんとか頑張って手術を受けて幸せな人生を送ってほしい」という、そのアナウンサーの、そして全米の人々の思いを込めた、世界一美しい嘘なんだよなあ・・・と感動したエピソードだ。

○そんなことを思い出しつつ、11皿目のかっぱ巻きを最後に寿司を食べ終わり、会計を済ませて再び例のロボットの前を通り過ぎた。彼は今度はもう僕のことなど何も相手をしてくれない。完全無視だ。「ちえっ」と心の中で舌打ちをして店を出ようとしたら、レジにいた若い女の店員さんが「ありがとうございました！」と元気な声で言ってくれた。それだけで少し幸せな気分になり、「また来てもいいかな」と思ってしまった。以上が、君たちの校長の、春休みの出来事である。

○水曜日からまた休校に入る。現状は非常に厳しい。君たちにはまずは感染しないための万全の対策を求める。一方、こんな時だからこそ、人と人との心のつながりは大切にしたい。それができれば、新型コロナウイルスへの様々な対策も、形式だけではなく「思い」を伴ったものとなって、より効果を発揮するはずだ。そして、武台に生きる僕たちのその基盤は、今日もそしてこれからも、共に生きる仲間たちとの心のつながりであるはずだ。そう思って、こんな話をした。

○以上で、今朝の話が終わる。

## 余談・・・

20日にこの話をし、そして21日の朝、正門に立った職員に恐る恐る状況を聞いてみました。口々に「昨日までとは違います！」と答えてくれました。素晴らしい生徒たちに恵まれているんだな、と感激した次第です。